

# 「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」2021改訂版の方向性

## 1. 新型コロナ感染症拡大を契機とした新しい未来

### 構造的課題

- ・少子化・高齢化の進展
- ・東京一極集中

### コロナによって明らかになった課題・新しいトレンド

- ・感染症対策（医療体制、事業継続、都市過密リスク等）
- ・デジタル化・オンライン化の必要性
- ・テレワークなど働き方改革 ・若者の地方暮らしへの関心の高まり

## ウィズコロナ・ポストコロナ時代に北九州市が目指す新しい未来

**新たな日常を通じた、「生活の質（クオリティオブライフ）が高く、豊かな環境を次世代に引き継げるグリーン成長都市」の構築**

- 脱炭素化を軸に都市や企業の競争力を高め、快適で強靱性のあるまち
- 個人が輝き、テレワークなど柔軟な働き方や暮らし方により豊かさを実感できるまち
- 感染症や自然災害などの危機に強く、安心して暮らせるまち
- 誰一人取り残されることなく、その人らしく生きることのできる包摂的なまち

## 2. 第2期北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略の強化

### ＜ 第2期戦略の強化に向けた新たな視点 ＞

1. 環境と経済の好循環による、脱炭素に向けたグリーン成長の実現
2. デジタルトランスフォーメーション（DX）推進による質の高い社会の構築
3. 柔軟な働き方や暮らし方の実現による、企業や人の新しい流れの創出
4. 地域経済の下支えと雇用の維持
5. 感染症対策を始めとする、危機に強く安心して暮らせる「共生のまち」の実現

### ＜ 新たな視点を反映した第2期戦略の改訂（案） ＞

1. 環境と経済の好循環による、脱炭素に向けたグリーン成長の実現  
⇒基本方針に「脱炭素社会の実現」を追加、  
「Ⅰ 魅力あるしごとをつくる」に項目追加
2. デジタルトランスフォーメーション（DX）推進による質の高い社会の構築  
⇒横断的な視点として、「地方創生推進のためのデジタル技術活用」を追加
3. 柔軟な働き方や暮らし方の実現による、企業や人の新しい流れの創出  
⇒「Ⅰ 魅力あるしごとをつくる」「Ⅱ 新しいひとの流れをつくる」の既存項目に追記
4. 地域経済の下支えと雇用の維持  
⇒「Ⅰ 魅力あるしごとをつくる」の既存項目で対応  
補正予算や予備費を活用し、引き続き迅速、機動的に対応
5. 感染症対策を始めとする、危機に強く安心して暮らせる「共生のまち」の実現  
⇒「Ⅳ 魅力的なまちをつくる」に項目追加  
「北九州市新型コロナウイルス感染症対策会議」において庁内横断的に対策を推進

### 【参考】「第2期 北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」5つの柱

- Ⅰ 北九州市に魅力ある仕事をつくり、安心して働けるようにする
- Ⅱ 北九州市への新しいひとの流れをつくる
- Ⅲ 女性の活躍を推進し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- Ⅳ 時代に合った魅力的な住みよいまちをつくる
- Ⅴ 地方創生推進のための国の施策への対応（特区・税制・政府関係機関誘致など）